

第 9 回

熊本県議会

決算特別委員会会議記録

平成27年12月 1 日

(平成26年度決算)

(決算の認否・報告案)

開 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

第9回 熊本県議会 決算特別委員会会議記録

平成27年12月1日(火曜日)

午前10時19分開議

午前10時31分閉会

本日の会議に付した事件

- 1 平成26年度一般会計、各特別会計、病院事業会計及び企業局3事業会計の決算の認否等について

議案第30号 平成26年度熊本県一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第31号 平成26年度熊本県中小企業振興資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第32号 平成26年度熊本県母子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第33号 平成26年度熊本県収入証紙特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第34号 平成26年度熊本県立高等学校実習資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第35号 平成26年度熊本県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第36号 平成26年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第37号 平成26年度熊本県育英資金等貸与特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第38号 平成26年度熊本県林業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第39号 平成26年度熊本県沿岸漁業改善資金特別会計歳入歳出決算の認

定について

議案第40号 平成26年度熊本市町村振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第41号 平成26年度熊本県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第42号 平成26年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第43号 平成26年度熊本県のチッソ株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第44号 平成26年度熊本県公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第45号 平成26年度熊本県就農支援資金貸付特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第46号 平成26年度熊本県病院事業会計決算の認定について

議案第47号 平成26年度熊本県電気事業会計中小水力発電開発改良積立金の目的外使用及び決算の認定について

議案第48号 平成26年度熊本県工業用水道事業会計決算の認定について

議案第49号 平成26年度熊本県有料駐車場事業会計利益の処分及び決算の認定について

- 2 決算特別委員長報告について

出席委員(12人)

委員長 吉 永 和 世

副委員長 瀧 上 陽 一

委員 山本 秀久
 委員 藤川 隆夫
 委員 荒木 章博
 委員 坂田 孝志
 委員 浦田 祐三子
 委員 高木 健次
 委員 緒方 勇二
 委員 前田 憲秀
 委員 濱田 大造
 委員 山本 伸裕

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

知事公室

公室長 田嶋 徹
 秘書課長 島田 邦満

総務部

部長 木村 敬
 人事課長 青木 政俊
 財政課長 正木 祐輔

企画振興部

部長 島崎 征夫
 首席審議員兼企画課長 吉田 誠

健康福祉部

部長 豊田 祐一
 首席審議員兼
 健康福祉政策課長 渡辺 克淑

環境生活部

部長 田代 裕信
 環境政策課長 正木 祐輔

商工観光労働部

部長 高口 義幸
 政策審議監兼商工政策課長 奥 蘭 惣 幸

農林水産部

部長 濱田 義之
 農林水産政策課長 白石 伸一

土木部

部長 猿渡 慶一
 監理課長 成富 守

出納局

会計管理者兼出納局長 山本 理
 企業局

局長 五嶋 道也
 次長兼総務経営課長 福島 裕

病院局

病院事業管理者 河野 靖
 総務経営課長 清原 一彦

教育委員会

教育長 田崎 龍一
 教育政策課長 田村 真一

警察本部

本部長 後藤 和宏
 参事官兼会計課長 松岡 範俊

人事委員会事務局

局長 宮尾 尚
 首席審議員兼総務課長 吉富 寛

労働委員会事務局

局長 白濱 良一
 審査調整課長 平井 貴

議会事務局

局長 佐藤 伸之
 次長兼総務課長 中島 昭則

出納局職員出席者

首席審議員兼会計課長 瀬戸 浩一

監査委員・同事務局職員出席者

監査委員 松見 辰彦
 局長 牧野 俊彦
 監査監 小原 信
 監査監 千羽 一樹

事務局職員出席者

議事課課長補佐 小夏 香
 議事課主幹 東 昭宏

午前10時19分開議

○吉永和世委員長 それでは、ただいまから
 第9回決算特別委員会を開会いたします。

本日は、本委員会に付託されました各決算関係議案の採決と、閉会日に行う委員長報告について御審議をお願いいたします。

早速議案の採決に入りますが、企業局関係議案のうち、議案第47号及び第49号については決算認定とあわせて、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づく利益の処分について、並びに、同法施行令第24条第2項の規定に基づく積立金の目的外使用について、それぞれ議決を求める内容となっておりますので、そのほかの議案と区分してお諮りいたします。

それでは、まず議案第30号から第46号まで、及び第48号について一括して採決したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」「委員長」と呼ぶ声あり。）

○山本伸裕委員 第30号と第37号、第48号については挙手で採決をお願いします。

○吉永和世委員長 それでは議案第30号、第37号、第48号についてはそれぞれ挙手により採決いたします。

まず、議案第30号について挙手により採決いたします。原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○吉永和世委員長 挙手多数と認めます。よって議案第30号は原案のとおり認定することに決定しました。

次に、議案第37号について挙手により採決いたします。原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○吉永和世委員長 挙手多数と認めます。よって議案第37号は原案のとおり認定することに決定しました。

次に、議案第48号について挙手により採決いたします。原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○吉永和世委員長 挙手多数と認めます。よって議案第48号は原案のとおり認定することに決定しました。

次に残りの議案第31号から第36号まで、第38号から第46号までについて一括して採決いたします。原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

○吉永和世委員長 御異議なしと認めます。よって議案第31号から第36号まで、及び第38号から第46号までについては原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に議案第47号及び第49号について一括して採決したいと思いますと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

○吉永和世委員長 御異議なしと認めます。よって議案第47号及び第49号は原案のとおり可決及び認定することに決定いたしました。

次に委員長報告について、お諮りします。

ただいまから委員長報告案を配付させます。

（資料配布）

○吉永和世委員長 配付終わりましたでしょうか。一通り目を通していただければと思いますが…。

まず、章立てにつきましては、前回の委員会でお諮りしたとおりでございます。

「第1 審査方針」は、第2回委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

また、「第2 決算の概要」では、各会計の決算概要を簡単に記載しております。

「第3 歳入確保と予算執行」、「第4 施策推進上改善又は検討を要する事項等」については、前回の委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

「第5 結論」は、本日の採決結果に沿った内容となっております。

以上のような内容ですが、委員長報告はこ

の案のとおり行うこととしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」「委員長」と呼ぶ声あり）

○山本伸裕委員 前回の委員会でも発言をさせていただきましたが、委員長には大変御尽力いただいて取りまとめていただいたんですが、やはり立野ダム建設やあるいは同和行政、さらには滞納者に対しての生活支援、生業への支援等について、やはりあの26年度決算でまとめられたことに関しては意見があり、委員長の取りまとめには同意できないというようなことを表明させていただきたいというふうに思います。

○吉永和世委員長 今、御異議がありました。御意見等を踏まえ修正等は私に御一任いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

（「多数決をとりたい」と呼ぶ者あり）

○山本伸裕委員 前回は委員会の総意というようなことではなくて、私は賛同しかねるというようなことで表明しておりますので、その旨ははっきりしていただければと思います。

（「山本委員の立場もあるから」と呼ぶ声あり）

○吉永和世委員長 では採決を取っていいですか。この委員長報告の原案に賛成の方の挙手を求めたいと思います。

（賛成者挙手）

○吉永和世委員長 賛成多数ということで、この案でいかせていただきます。

山本先生の御意見は委員長報告には載っていませんが、議事録のなかにはしっかりと出ますし…。

○山本伸裕委員 前回といたしますか、松岡委員の決算委員会所属の時の会議録を調べたら、委員長の取りまとめ案には賛同できないというようなことで、委員の名前を外してまとめていただいているようなことになってい

たかと…。平成23年の決算委員会ではそういうふうになっています。

○吉永和世委員長 ただ、基本的には委員会のメンバーで、審議したことは間違いのないことで、先生の意見もしっかりと議事録の中には残っているという状況ですので…。

○山本伸裕委員 そこは委員長の御判断にお任せします。要は私の意見として委員長の取りまとめの意見には賛同しかねるという意見表明をさせていただいたということですので、それが記録に残れば形にはこだわりません。

○吉永和世委員長 名前を残しとっていいわけでしょう。

○山本伸裕委員 それは、まあ慣例にのっとってやっていただければ。

○吉永和世委員長 外す方がおかしいと思いますよ。やっぱりこれまで委員会の中でやってきたわけですから。

○山本伸裕委員 はい、名前は書いていただいて結構です。

○吉永和世委員長 最初から参加していなかったならですね、あれですけど。わかりました。

これで委員会の審議はすべて終了しました。ここで執行部を代表して山本会計管理者に御挨拶をお願いいたします。

○山本会計管理者

執行部を代表いたしまして、一言お礼を申し上げます。平成26年度決算の認定につきましては、去る9月の定例県議会に御提案申し上げて以来、当委員会において9回にわたる

御審議のうえ、本日、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算につきまして、可決及び認定との御決定をいただき、誠にありがとうございました。

この間、吉永委員長、洲上副委員長をはじめ委員の皆様方におかれましては熱心な御審議をいただきました。その結果、委員長報告では施策推進上改善または検討を要する事項等の中で、共通事項として2項目、部局別に7項目、計9項目について御指摘をいただきました。

また各部局の審議の過程においても、さまざまな御指導をいただきました。私どもといたしましては、これらの御指摘、御指導のありました事柄に十分留意して適切な予算の執行をはかり、効率的、効果的な行財政運営に努めてまいり所存でございます。

委員の皆様方におかれましては今後ともよろしく御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

○吉永和世委員長 それでは閉会にあたりまして、私から御挨拶を申し上げます。

本日まで9回にわたりまして、決算特別委員会を開催させていただきました。

委員の先生方には終始、慎重審議いただきまして本当に感謝申し上げたいと思いますし、また、執行部の方々には懇切丁寧にご説明いただきまして、本当にありがとうございました。

本当にあの、財政健全化、大きな課題でございますが、しっかりと取り組んでいただいていると実感しました。またこれからもしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

また、この委員会の中で御意見、そしてまた御要望ございますが、大変大事なことだと思っておりますので、しっかりと今後反映させていただきますよう検討いただければと

思いますので、よろしくお願い申し上げたいと思います。

いずれにしましても蒲島知事が掲げております県民幸福量の最大化に向けてしっかりと、一円たりとも無駄に使うことなく取り組んでいただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

最後になりますが、御協力いただきました委員の先生方、そしてまた執行部の方々、そしてまた補佐していただきました洲上副委員長に対しまして心から感謝申し上げます、閉会の挨拶にかえさせていただきます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

（拍手）

○吉永和世委員長 それではこれをもって第9回決算特別委員会を閉会します。お疲れさまでございました。

午前10時31分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

決算特別委員会委員長